

テンプルちゃんの小公女 (1939)

THE LITTLE PRINCESS

メディア 映画

ジャンル ファミリー

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 80分

初公開日 1979/12/22

公開情報 I P

【解説】

他愛ないコメディ「メイド・イン・アメリカ」が俄に感動的になるのが、テッド・ダンソンが本作を観て涙ぐむ引用場面。父娘の情愛を描いて極上のうるおいをもたらす本作が、ダンソンの乾いた心に父性愛を目覚めさせる、という次第だった。まったく“食べてしまいたいほど可愛い”とはまさに、このS・テンプルのためにある言葉だ。彼女の役は、ビクトリア朝ロンドンの資産家の娘。ボーア戦争にいった彼女の父の訃報によって、寄宿学校での待遇が一転、屋根裏で暮らすお手伝いさんになってしまう。それでも健気な彼女は、めげたりしない。高圧的な校長にはユーモアで対抗し、優しい先生には恋路の手助けをして上げる……。もう、“自分もこんな子が欲しい”とホントに思わせる、至上のカワユサなのでありますよ。

【クレジット】

監督	ウォルター・ラング	Walter Lang
製作	ダリル・F・ザナック	Darryl F. Zanuck
原作	フランシス・ホジソン・バーネット	Frances Hodgson Burnett
脚本	エセル・ヒル	Ethel Hill
	ウォルター・フェリス	Walter Ferris
撮影	アーサー・C・ミラー	Arthur C. Miller
	ウィリアム・V・スコール	William V. Skall
音楽	ウォルター・ブロック	Walter Bullock
主題歌	サミュエル・ポクラス	
出演	シャーリー・テンプル	Shirley Temple
	リチャード・グリーン	Richard Greene
	アニタ・ルイズ	Anita Louise
	メアリー・ナッシュ	Mary Nash
	イアン・ハンター	Ian Hunter
	シーザー・ロメロ	Cesar Romero
	シビル・ジェイソン	Sybil Jason